



農大だより

URL <http://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>

第5号 平成21年10月

香川県立農業大学校

〒766-0004

仲多度郡琴平町榎井34-3

TEL 0877-75-1141

FAX 0877-75-3989

E-mail: nodai@mx8.tiki.ne.jp



目を回しながらがんばっています。
(左から星久保、河村です。)

私は、丸亀市の竹内農場で専攻実習に取り組んでいます。同農場は、キャベツを中心とした専業農家で、キャベツの栽培面積は十六ヘクタールと県下でもトップクラスの規模です。

河村昭如・星久保誠

野菜園芸コース

専攻実習の取り組み

二年生は、先進農家などでより実践的な専攻実習に取り組み、これまで習得した知識と経験を基礎に、テーマを設定し、自ら計画を立案してプロジェクトとして遂行します。そして、その過程、結果を卒業論文として取りまとめます。

同農場での実習では、自動移植機やブルームスプレイヤー等、大規模経営ならではの機械を使った作業や、市場出荷に対応したキャベツ品種の選定方法等、これまで学校で学んできた基礎に加え、実践的な栽培技術を習得できました。また、経営主の竹内章雄さんがユーモアたっぷりに語ってくれる農業に対する考え方は、将来の方向性に大いに参考になっています。

現在は、年明けより作型の定植作業の最盛期です。農場の作業員の方々とともに、目の回るような忙しさと戦いながら、これまで習得した事を卒業論文にまとめようと日々奮闘しています。

花き園芸コース

大倉 純

私は、「トルコギキョウの八月出荷作型に向けた種子冷蔵技術の導入と適応品種の選定について」を卒業論文の課題としています。従来、香川県のトルコギキョウは燃料をたくさん使う、年末の二度切り作型である超促成栽培が主流でしたが、近年の原油価格高騰などの影響で、燃料を必要としないお盆など夏期に開花させる作型が増加してきています。そこで、切花の品質低下が心配される高温時期でも良好な品質が得られる育苗方法と適応品種を選定することを目的に調査を行っています。

花き栽培農家の方々に役立ててもらおうと、夏休みもほとんど学校に来て調査を行



トルコギキョウの開花を調査しています。
暑いけど、がんばっています(夏休み中)。

いました。夏の暑い時期でも消費者の方々にたくさん綺麗なトルコギキョウを届けることができるよう、この卒業論文が役立つといいなと思っています。

果樹園芸コース

中山修一

果樹園芸コースでは、それぞれ担当樹種を選択して実習を行うプロジェクト学習に取り組んでいます。私はブドウを担当しており、「ブドウピオーネのジベレリン早期処理による摘粒作業の省力化」をテーマに卒業論文に挑んでいます。高校時代からブドウの栽培には興味があり、時間のかかる摘粒作業を省力化したいと思い、このテーマを選びました。先日は私の立てた計画を

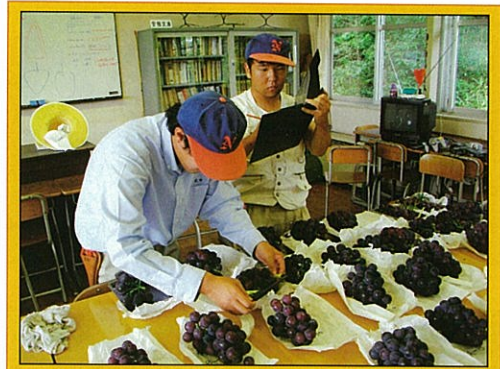
造園緑化コース

篠原聖平

私の卒業論文の課題は、小庭園作成です。最近では洋風やモダンな庭に人気がある中で、あえて和風な小庭園の

もとに、コースの同級生や後輩に協力してもらい、ブドウ果実の品質を調査しましたが、膨大な時間と手間を要し、自分が今まで経験した事の無い大変なものでした。しかし、先生方やコースの皆さんのおかげで無事に終えることができました。

現在は調査データを考察中です。今まで以上に大変になりそうですが、「やればできる！」と自分を信じ、頑張っていきたいと思います。



ピオーネの果房形を調査中です。書き取っているのが私（中山）です。

作成を計画しました。

テーマは「誰もが心地よくなれる庭」で、三月に京都に研修に行ったときに一番心に残った枯山水庭園に手水鉢（ちようずばち）を融合させた今までの「心和める」庭に挑戦したいと思います。



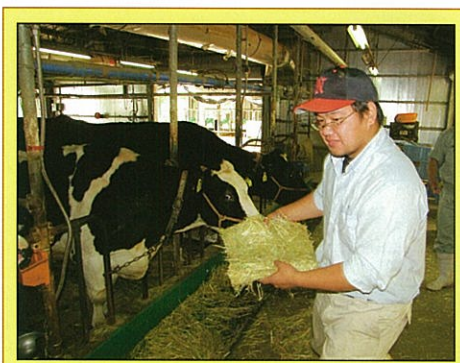
まもなく完成です。ご期待ください。

現在は、壁塗り・植栽までですが、背景の壁は、植栽の存在を引き立てるよう、白色で模様の無いシンプルなものとし、全体のバランスを考えながら、左側に背の高いモミジを、右側にひと回り低いクロマツを植栽し、左から右への流れを作りました。中央には距離感がでるよう、川にみたてた白砂を敷く予定です。これから完成に向け、全力で取り組みたいと思います。

畜産コース

小倉拓也

私は、三木町の県畜産試験場で専攻実習に取り組んでいます。実習は牛への餌やり、床替え、搾乳、ブラッシング等が主な内容ですが、実習先の講師の先生方は気さくな方が多く、毎日楽しく取り組んでいます。しかし、たまに、どうやっていいかわからずに失敗してしまう事があり、まだまだ経験が足りないという事を痛感します。



お腹が空いたモー
モーすぐ給餌するから待ってね。

卒業論文では牛の肉質を超音波機器を用いてスキャンしてパソコンに取り込み、そのデータを集積しています。今後、卒業論文の取りまとめとともに実習にしっかりと取り組み、早く一人前になれるよう頑張りたいと思います。

活躍する修了生

今回は、三豊市三野町で定年退職後の農業に挑んでいる関正憲さんを紹介します。関さんは平成二十年度の本校研修科修了生です。



関 正憲さん
平成20年度 修了

関さんは、三十七年間、地方公務員として地元で勤務され、平成二十年に定年退職されました。それまで兼業で水稲を栽培していましたが、定年を機に野菜栽培に取り組むこととし、基礎から学びたいということで本校の一年研修に参加されました。

研修中は自家でオクラ・ネギ・キャベツ・ブロッコリーを試作、検討し、将来性を見込めるブロッコリーに的を絞って、昨年は三十五アールの栽培に取

り組みました。本年は、ブロッコリー五十アールと水稲九十アールを栽培しており、将来はブロッコリーを九十アールにまで拡大する予定です。

関さんの住む地域は、平坦地に水田のある比較的農地条件が良いところですが、近年は耕作放棄地が目立つようになり、解消も容易ではありません。定年後、まずは自家農地、ひいては地域農業を守るために実践を始めた関さんの御活躍を御祈念いたします。

資格・免許取得に頑張る！

本校では、将来の就農や就職に備え、必要な資格、免許の取得を支援しています。

造園技能検定

造園緑化コース 一年 塩崎 朝

造園技能検定は、造園に関する国家資格で、検定試験の合格者は『造園技能士』と称することができます。

試験内容は、竹垣・敷石などの施工と枝葉を見ての樹種鑑定からなる実技試験と、学科試験です。これまで、私たち造園緑化コースでは、三級技能検定を二学年時に受験していましたが、今年は一学年も受験しました。試験当日は非常に強い降雨に見舞われまし

たが、練習の成果を出し切り、見事に全員が合格しました。



降雨の中、がんばりました。

私はこの農大で造園技能士の資格を絶対に取得しようと思っていたので、合格した時はとても嬉しかったです。次の目標である二級取得に向け頑張っています。

大型特殊運転免許（農耕車限定）

トラクターは、最も危険な農業機械の一つで、転落・転倒などにより、全国で毎年百名以上の方々々が亡くなっています。そこで農大では、校内に運転コースを設け、路上におけるトラクターの基本操作を学ぶための研修を実施しています。また、同コースでは、県運転免許センターの協力のもと、技

能試験が行われ（第五水曜日・一回二十名以内）、農耕車限定の大型特殊免許を取得することができます。なお、試験では、交差点での左右確認、右左折時の進路変更などの安全運転ができないと合格させてもらえません。いっぴくなく真剣な顔をして、四十八馬力の大型トラクターをてきぱきと乗りこなす学生たちの姿は、まるで一人前の農業者を見ているようです。



左右確認OK！
気になる試験結果は？

全国農業大学校交換大会に参加して

花き園芸コース 一年 植田靖菜

今年の全国農業大学校交換大会は、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。本校からは私と野菜園芸コースの坂口

順哉君が参加しました。参加するまでは全国から集まった知らない人達とどうまく友達になれるか不安でしたが、初日の交流会では初めて会ったとは思えないくらい仲良くなりました。

大会は流通調査研究が中心となりましたが、十八の班に分かれ、調査の計画書作成から報告会での発表まで各班でしなければならぬというものでした。二日目、私は世田谷市場と青山フラワーマーケット本店で流通調査を行い、花き栽培農家の販売戦略などの優良事例や花店経営のためのいろいろな工夫を聞くことができました。それらの調査結果をもとに、翌日の報告会に向けて同じ班の仲間たちと夜遅くまで話し合いました。報告会では残念ながら良い成績は得られませんでした。一つ一つの目標に向けて一緒に頑張ることによって、全国に多くの友達ができたことが一番の思い出になりました。



同班メンバーとパチリ！
2列目右端が私（植田）です。

平成二十二年 学生募集

担い手養成科

募集人員

野菜園芸・花き園芸・果樹園芸・造園緑化・畜産コース
あわせて四十五名

一般入試

試験内容：小論文、面接試験

前期日程

● 受付期間

平成二十二年十二月七日(月)～二十一日(月)

● 試験日

平成二十二年一月七日(木)

● 合格発表

平成二十二年一月十四日(木)

後期日程

● 受付期間

平成二十二年二月二十二日(月)～三月一日(月)

● 試験日

平成二十二年三月八日(月)

● 合格発表

平成二十二年三月十一日(木)

技術研修科

新規就農を目指す方を対象とした就農準備研修等については、左記までお問い合わせ下さい。

問合せ先

総務研修課または教務課

TEL 0877(七五)1141
FAX 0877(七五)3989

受付時間は午前八時三十分から午後五時十五分となります。

本校ホームページでも募集要項を確認できます。

農大ふれあい市 開催!

本校の学生自治会は、恒例の『農大ふれあい市』を次のとおり開催します。後援会会員も応援をかねて参加します。本年も学生が頑張つて趣向を凝らした企画を用意しておりますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひお越しください。

● 開催日

平成二十二年十一月十四日(土)

● 開催時間

午前十時三十分～午後二時

● 内容(予定)

農産物販売(野菜、いもどり米、鉢物、花苗、果物、堆肥等)、模擬店(たこ焼き、焼そば、焼鳥、卵かけ御飯等)、バザー(不用品、アウトレット)、展示(骨密度測定など)

新鮮な野菜がいっぱいです!



昨年は雨でしたが大勢ご利用くださいました。

● なお、駐車場は用意しておりますが、台数に限りがありますので、公共交通機関もご利用ください。

今後の学校行事計画

平成 21 年	
11月14日	農大ふれあい市
平成 22 年	
1月7日	一般入学試験(前期)
1月22日	校内卒業論文発表会
2月2～3日	中国四国ブロック農業大学校プロジェクト発表会(山口県)
2月23～24日	全国農業大学校等プロジェクト発表会(東京都)
3月4日	卒業式(予定)
3月8日	卒業式(予定)
3月10～12日	一般入学試験(後期) 1学年 県外先進地研修

編集後記

一学年は、いよいよ卒論の仕上げの時期が近づいてきました。校内にも緊張感が漂っている頃です。(文)